

## 坂東市ガラス工房

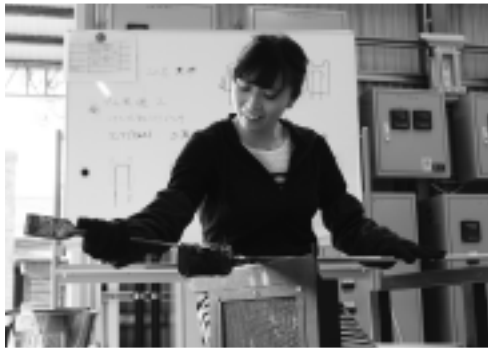
### 見学会&ガラス作り体験を開催

整備をすすめている観光交流センター「秀緑」内のガラス工房が完成し、オーブンにさきがけ、4月のぼんどうホコテンに合わせ、施設の見学会が開催されました。

見学会では、琉球ガラス村の技術指導者によるガラス製品作りのデモンストラーションが行われ、見学に訪れたみなさんを魅了していました。

また、見学会に訪れた先着100人のかたが、ゴールドデングラス作り体験に招待されました。参加されたみなさんは、技術指導者の説明を受けたあと吹きガラスに挑戦、世界に一つだけのオリジナルガラスの製作を楽しみました。

坂東市ガラス工房は、オーブンに向けて、見学会やガラス作り体験を開催していく予定です。日程が決まり次第随時お知らせします。ぜひご参加ください。



▲ガラス作りを体験しました



▲ガラス工房の見学に多くのかたが訪れました

#### ■お問合せ

坂東市ガラス工房

☎0297(35)0002

## ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



### 納期内納税で 行政サービスの向上

本年度は、合併10周年を迎え、新庁舎建設も順調に進み、新たな坂東市の再スタートにふさわしい年になりました。来年3月には、本市を走る圏央道の開通が7月には新庁舎の完成が見込まれています。また、さまざまなインフラの整備、社会福祉の充実などにも力を注ぎ、住みよいまちづくりを目指しているところです。

まちづくりを進めるうえで気になるのが財政的な裏支えです。今年度の一般会

計予算は280億円で、昨年度比で15・2%の伸びに当ります。この財源を支えているのがみなさんから納付いただく税金です。この財源確保のため、市ではさまざまな取り組みを行っています。

全ての税は、納税者の負担力をはかり、「公平・公正」を基本に課税されています。しかし、課税は常に後追ひになりますので、稀に滞るかたも出てまいります。そこで、税の公平を確保するために、こうした場合、納付に対する誠実な意思があるか、納付のための資金はあるかなどを見極め、担税力に応じた滞納処分をさせていた、たくともあります。また、滞納があるかたに対しては、行政からのサービスに制限を加えさせていた、たくともあります。

平成23年度に全国に類のない「納めてなつ得事業」をスタートさせました。これは、納税意識の高揚及び税

収の確保を図るための事業で、対象となる市税に滞納が無い「優良納税者」のかたに、ポイントを付与した「市民の税カード」を交付しました。ポイントは、市で交付する諸証明の手数料としてご使用いただけます。しかし、未使用のポイントをお持ちのかたも多いようです。ご家族のかたでもご使用になれますのでご利用ください。また、この事業の一環として実施してきました「納めてなつ得抽選会」は、本年度最終を迎えます。多くのかたの参加をお待ちしています。

市民のみなさんのご理解により、平成22年度以降の徴収率は上昇傾向にあります。今後とも市民のみなさんからの信頼を失うことのないよう税の公平に努め、更なる住民サービスの向上につなげていきたいと考えています。今後とも納期内納付にご協力いただきますようお願いします。